

## ▼アバスタチン点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ベンシズマブ (遺伝子組換え) Bevacizumab (Genetical Recombination) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 (抗VEGF ヒト化モノクローナル抗体)

【単位】 ▼100mg/4mL, ▼400mg/16mL

【常用量】 添付文書参照

【用法】 初回は90分かけて、以後忍容性があれば点滴時間の短縮が可能。生食で希釈。

【透析患者への投与方法】 設定されていない (1)

【その他の報告】 FOLFOX-6 に追加して治療された HD 患者の症例 (Horimatsu T, et al: Cancer Chemother Pharmacol 68: 263-6, 2011 PMID: 21499694) FOLFIRI に追加して治療された HD 患者の症例 (Hoshino H, et al: Gan To Kagaku Ryoho 39: 983-6, 2012 PMID: 22705698)

mFOLFOX (Oxaliplatin 65mg/m<sup>2</sup>, 5-FU 2400mg/m<sup>2</sup>/44hr 持続, レボホリナート 140mg/m<sup>2</sup>) + ベンシズマブ (3.5mg/kg) で治療された HD 患者の 1 例 (宮崎三枝子, 他: 透析会誌 49: 431-7, 2016)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 設定されていない (1)

【特徴】 ヒト血管内皮増殖因子 (VEGF) に対する遺伝子組換え型ヒトモノクローナル抗体。結腸・直腸癌、非小細胞肺癌に適用され、抗癌剤と併用される。

【主な副作用・毒性】 ショック、アナフィラキシー、消化管穿孔、出血、創傷治癒遅延、血栓塞栓、高血圧、可逆性後白質脳症候群、ネフローゼ、好中球減少、間質性肺炎、神経障害、消化器症状、肝障害など多数

【代謝】 血中では主に未変化体で存在し、イムノグロブリンの代謝経路で代謝されると推測 (1)

【排泄】 尿中に未変化体は排泄されない [ウサギ] (1)

【CL】 男性 0.262L/day, 女性 0.207L/day (1) 0.18L/day (Panoilia E, et al: Cancer Chemother Pharmacol 75: 791-803, 2015 PMID: 25687989)

【t<sub>1/2</sub>】 12 日 (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 60~70mL/kg (1) 血漿に分布 (1) Vc 2.66~3.25L/man (1)

【MW】 約 149000

【透析性】 分子量が大きいため低いと思われる (5)

【薬物動態】 2-コンパートメントモデルで解析される (1) 線形動態 (Wu JY, et al: Chin Med J 123: 901-6, 2010 PMID: 20497685)

【備考】 他の抗悪性腫瘍薬と併用して用いる。詳細は添付文書参照。脳転移がある場合には脳出血があらわれるおそれがあり慎重投与 (1)

【更新日】 20211116

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。